

第83期

中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日



新雪の鹿島槍ヶ岳

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第83期第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当期間におけるわが国経済は、雇用者所得が緩やかに回復して雇用環境が改善しつつも、熊本地震の影響や台風の記録的な数の上陸による天候不順の影響により、個人消費は一部に弱めの動きがみられます。また、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気状況、並びに英国のEU離脱問題など、海外経済の先行き不透明感が高まっております。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き「エネルギーのベストミックス」を基本に、LPガス・石油類・太陽光発電等お客様のニーズに対応したトータルな提案営業を積極的に展開するとともに、本年4月からの電力小売の全面自由化を受け、小売電気事業者として「サンリンでんき」の名称で電力の販売を開始し、LPガスとのセット販売を含めた新規顧客の獲得に努めてまいりました。また、自社太陽光発電設備として当社グループ14箇所目となる「松本発電所」を稼働させ、自社の総発電量は約6Mwとなりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、燃料関係の仕入価格が前期比で引き続き低水準を維持していることから、連動して販売価格も低位で推移したことにより、売上高は103億16百万円(前年同四半期比13.7%減)となりました。

利益面におきましては、石油類およびLPガスの仕入価格に応じた機動的な販売価格の見直し等により適正利益の確保に努めましたが、LPガス保安確保機器等の積極投資による費用の増加等により、営業利益は2億38百万円(前年同四半期比37.5%減)、経常利益は3億42百万円(前年同四半期比23.2%減)となりました。また、税金費用97百万円(前年同四半期比41.1%減)を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は2億47百万円(前年同四半期比12.9%減)となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



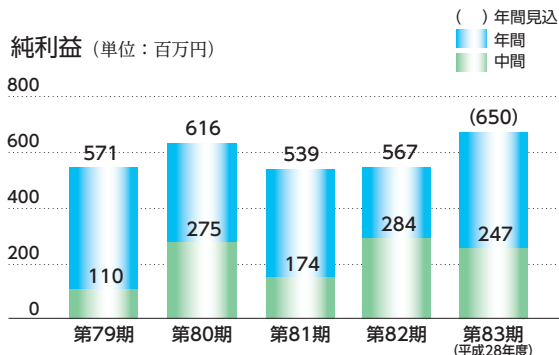
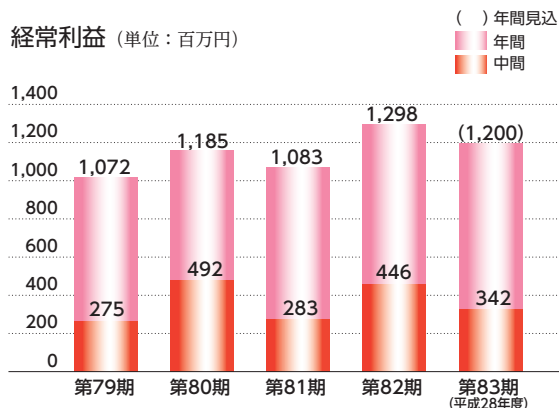
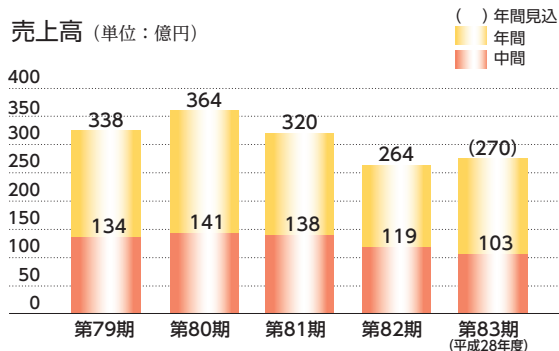
代表取締役社長

柳澤 勝久

平成28年12月

営業の概況(連結)

■財務ハイライト



石油事業におきましては、原油価格が引き続き低水準で推移していることから連動して販売価格も低水準で推移し、加えて自動車燃料の節約志向の高まりや低燃費車の普及等構造的な需要の減少が進行しており、販売価格の面でも利益確保の面でも厳しい状況で推移いたしました。

このような中において当社グループは、価格競争力と顧客サービスの向上を図りながら、販売数量の確保に努めてまいりました。

LPガス事業におきましては、こちらもLPガスの輸入価格が引き続き低水準で推移していることから、連動して販売価格の引き下げ等により厳しい収益環境となりましたが、販売店と一体となったキャンペーンを引き続き実施するとともに、4月からの電力小売全面自由化を受けて開始した電力販売とのセット割引等トータルな提案営業によりLPガス顧客基盤の拡大や顧客接点強化に努めてまいりました。また、当社事業の基本であります「LPガス消費者保安」につきましては、自己完結型の自主保安体制強化に引き続き努めており、高度保安実施事業者としての「ゴールド保安認定事業者」の地位を堅持しております。

リフォーム事業におきましては、お客様の要望に的確に応えるため、また、幅広い角度からのトータルなアプローチによる営業提案を実施するために、社内研修や訓練をさらに充実させ、よりお客様の立場に立った営業展開を積極的に行ってまいりました。

太陽光発電事業におきましては、大型設備への投資意欲は低下の傾向にありますが、遊休地の有効活用や節税対策などお客様のニーズに果敢に応えるよう引き続き積極的な営業展開を行ってまいりました。また、松本市岡田に建設しておりました当社グループ最大規模の太陽光発電設備であります松本発電所(1.9Mw)が発電開始となりました。これにより当社グループの太陽光発電設備は14箇所となり、その総発電量は約6Mwとなりました。

財務指標

四半期連結貸借対照表(要旨)

当第2四半期末(平成28年9月30日現在)
前期末(平成28年3月31日現在)

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	当第2四半期末	前期末	当第2四半期末	前期末
資産の部				
流動資産	9,422	10,268		
現金及び預金	5,549	5,726		
受取手形及び売掛金	2,101	2,778		
商品及び製品	1,193	1,068		
仕掛品	29	80		
原材料及び貯蔵品	340	327		
繰延税金資産	103	137		
その他の流動資産	106	151		
貸倒引当金	△ 1	△ 1		
固定資産	12,977	12,756		
有形固定資産	8,877	8,679		
建物及び構築物	2,410	2,066		
機械装置及び運搬具	618	614		
工具、器具及び備品	655	621		
土地	5,178	5,180		
建設仮勘定	14	195		
無形固定資産	155	72		
投資その他の資産	3,944	4,005		
投資有価証券	3,543	3,575		
繰延税金資産	70	100		
差入保証金	182	187		
その他の投資その他の資産	353	351		
貸倒引当金	△ 205	△ 209		
資産合計	22,399	23,024		
負債の部				
流動負債	5,468	6,014		
支払手形及び買掛金	1,652	1,877		
短期借入金	2,938	2,942		
1年内返済予定の長期借入金	166	140		
未払法人税等	50	217		
賞与引当金	157	274		
その他の流動負債	502	561		
固定負債	1,465	1,601		
長期借入金	242	339		
退職給付に係る負債	704	721		
役員退職慰労引当金	157	212		
資産除去債務	92	53		
繰延税金負債	69	75		
その他の固定負債	198	198		
負債合計	6,934	7,615		
純資産の部				
株主資本	15,187	15,173		
資本金	1,512	1,512		
資本剰余金	1,245	1,245		
利益剰余金	12,437	12,423		
自己株式	△ 8	△ 8		
その他の包括利益累計額	249	206		
その他有価証券評価差額金	260	229		
退職給付に係る調整累計額	△ 11	△ 23		
非支配株主持分	27	28		
純資産合計	15,464	15,408		
負債純資産合計	22,399	23,024		

財務指標

四半期連結損益計算書(要旨)

(第2四半期連結累計期間)

当第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)
前第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
売上高	10,316	11,948
売上原価	7,190	8,751
売上総利益	3,125	3,196
販売費及び一般管理費	2,887	2,815
営業利益	238	381
営業外収益	117	105
営業外費用	13	40
経常利益	342	446
特別利益	23	7
特別損失	21	4
税金等調整前当期純利益	344	449
法人税等	97	165
当期純利益	247	284
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益	247	284

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)
前第2四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	590	1,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 233	△ 364
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 298	△ 487
現金及び現金同等物の期末残高	3,909	4,075

トピックス

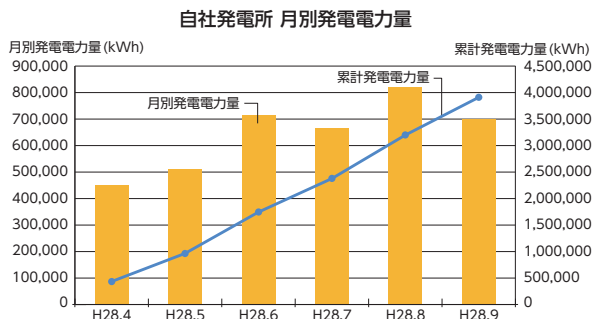
◆太陽光発電システムによる環境貢献

上期においては松本市岡田の「松本発電所」が平成28年6月に発電開始となりました。この発電所は松本市岡田財産区が所有する土地の有効活用に関するプロポーザルに応募して採用されたもので、土地を借り受けての設置となります。設置面積30,000㎡/パネル枚数7,260枚の規模は、自社発電所の中でも最大規模となりました。

これにより当社グループの発電所は合計14件、総発電能力は約6.0MWとなります。これは毎日一般家庭約1,600戸分(1日約18,500kWh)^{※1}の電気を賄い、年間でドラム缶約6,600本分の原油から排出される二酸化炭素約1,830tを削減していることとなります^{※2}。



自社発電所第14号松本発電所



※1 「一般家庭の平均年間電力消費量」は4,209kWh/年
(省エネルギーセンター:待機時消費電力調査報告書による)

※2 太陽電池による原油、CO₂削減効果1kWシステム当たり年間で原油227L、二酸化炭素314.5kgで換算(太陽光発電協会による)

◆電力販売事業開始

本年4月に始まった電力小売全面自由化に伴い、当社は小売電気事業者登録を取得し、「サンリンでんき」という名称で長野県内のお客様へ電力の販売を開始いたしました。電力の安定供給はそのままに、ガスとのセットでさらにお得となる「セット割」を提案するなど、当社をご利用いただくメリットを最大限に活かして顧客拡大に努めております。

なお、「サンリンでんき」の電源構成は再生可能エネルギーを30%以上使用するなど、クリーンな電源で発電しており、地球温暖化対策にも寄与しております。

今後もエネルギーに求められるニーズに合わせて柔軟に変化をし、エネルギーの販売を通してお客様の豊かな暮らしを応援する地域密着型生活関連総合会社として、さらなる企業価値向上に努めてまいります。



株式の状況 (平成28年9月30日現在)

■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	720名

■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツロコグループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
株式会社八十二銀行	575	4.7
曽根原 充 夫	530	4.3
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須 澤 孝 雄	346	2.8
等々力 温 子	312	2.5
長野県信用農業協同組合連合会	225	1.8

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,758	55.0
金融機関	2,104	17.1
その他の国内法人	3,414	27.8
自己株式	16	0.1
その他	6	0.1

会社の概要 (平成28年9月30日現在)

- 社 名/サンリン株式会社
- 設 立/昭和9年12月19日
- 資 本 金/15億1,280万円
- 従業員数/484名(グループ人員)
- 事業の内容/石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび
住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売
太陽光発電等の環境事業

■役員の状況 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	柳 澤 勝 久
代表取締役専務	塩 原 規 男
常務取締役	茂 木 誠
取 締 役	田 島 晃 平(社外取締役)
取 締 役	金 井 正
取 締 役	須 澤 孝 充
取 締 役	高 野 朗
取 締 役	中 村 章
取 締 役	百 瀬 久 志
常勤監査役	川 岸 隆
常勤監査役	矢 口 秀 明
監 査 役	山 根 伸 右(社外監査役)
監 査 役	井 口 秀 昭(社外監査役)

■子会社等 (平成28年10月1日現在)

- 三鱗運送株式会社(一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社(管工事業)
- サンエネック株式会社(LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- 上伊那ガス燃料株式会社(LPガス充填業務)
- サンリンI&F株式会社(水製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋(青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社(太陽光発電事業)
- 新潟サンリン株式会社(燃料等卸小売業)

※平成28年9月30日付をもって、サンリン松本エネルギー株式会社の事業を譲り受けました。

※平成28年10月1日付をもって、富山サンリン株式会社を合併いたしました。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日(ただし、中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sanrinkk.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【お 知 ら せ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

営業拠点



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。